

Lesson

普通、ボルトとナットは反時計方向へ回すと緩み、時計方向へ回すと締まります。

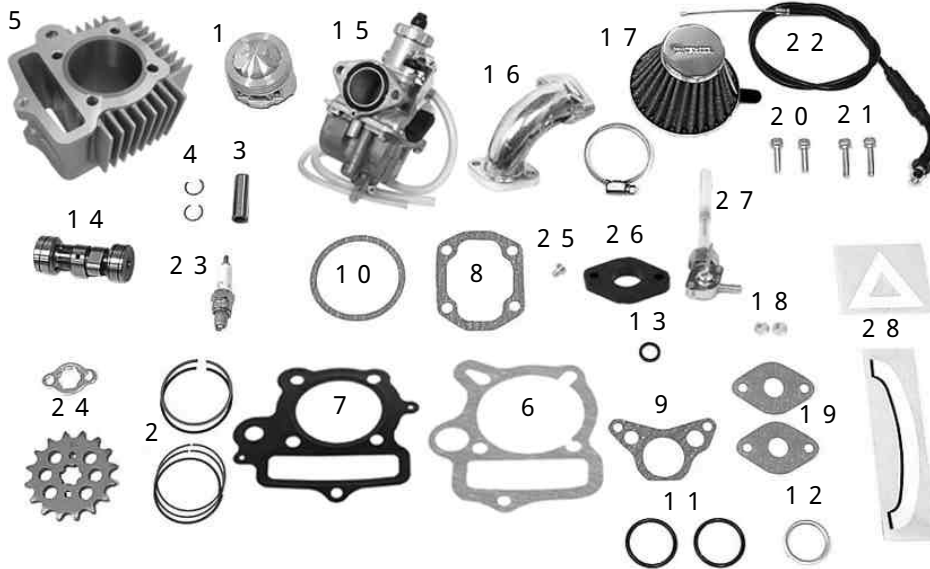
ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まず指で締まるところまで締めましょう。1～2回転でとまる場合は、ネジが斜めに入っている場合がありますので注意して下さい。

ネジを緩めるということは、締まっている状態から反時計方向へ3～4回転回すことをいい、取り外すということは反時計方向へネジが取れるまで回すことをいいます。

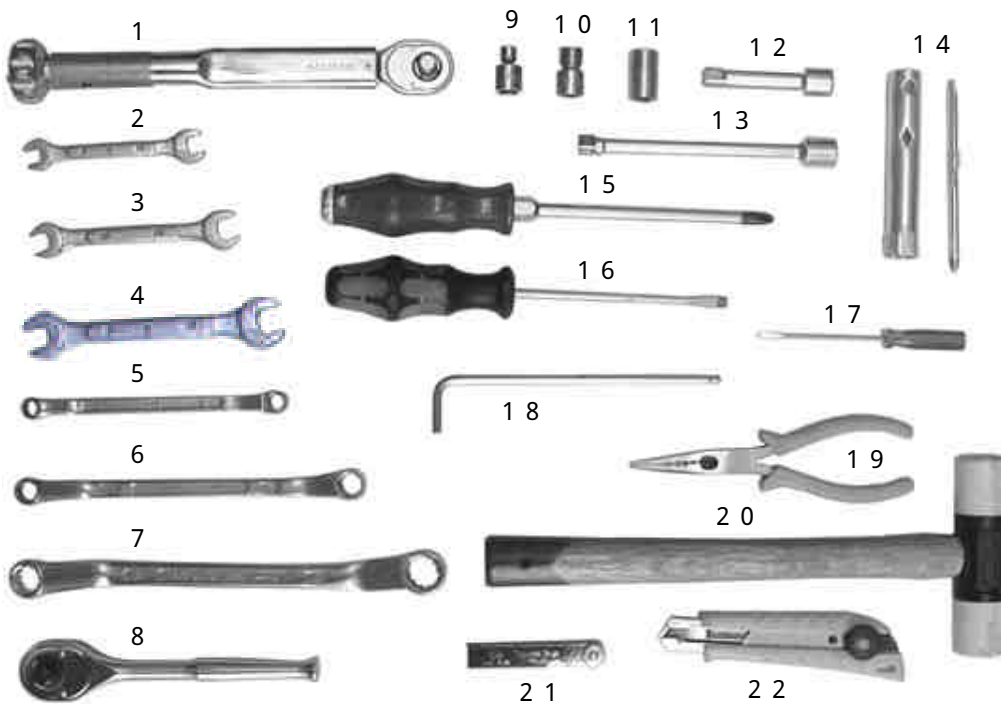
ネジを締めるということは、ネジが緩まないようにすることをいいます。その目安をボルトごとに折れない・緩まない数値で表したのが締め付けトルクです。トルクレンチを用意することの出来ない人は折れない・緩まない力で締められるのであれば試してみてください。但し、弊社では責任は負いません。トルクレンチが無くてどれぐらいの力で締めると折れるのか・緩むのかは自分自身の経験と勘でしか補えません。

工具を正しく使用しない場合、ボルト・ネジ等のかかり部分が破損する場合があります。

キット内容



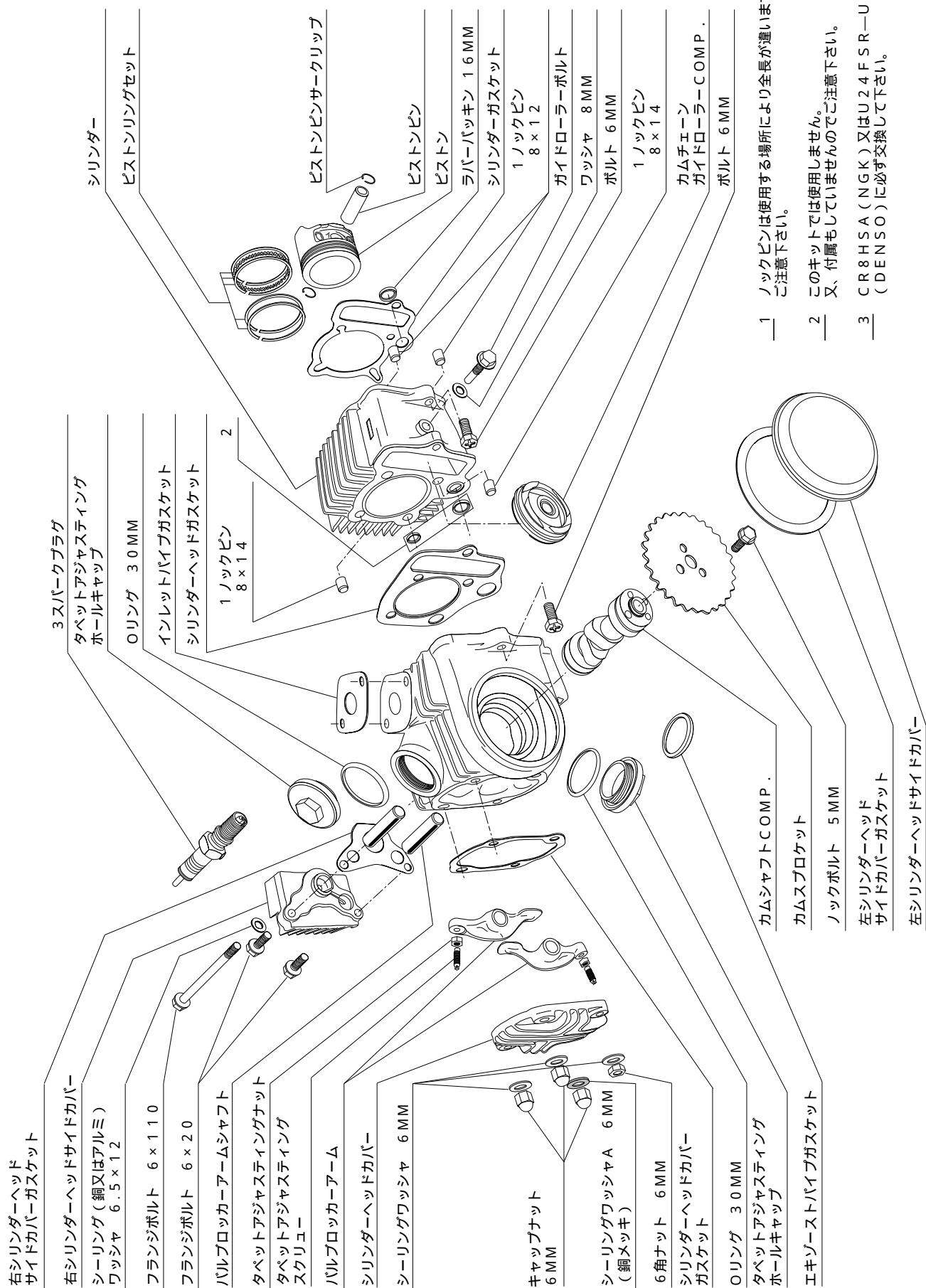
番号	部 品 名	個数
1	ピストン	1
2	ピストンリングセット	1
3	ピストンピン	1
4	ピストンピンサークリップ	2
5	シリンダー	1
6	シリンダーガスケット	1
7	シリンダーヘッドガスケット	1
8	シリンダーヘッドカバーガスケット	1
9	右サイドカバーガスケット	1
10	左サイドカバーガスケット	1
11	タペットキャップOリング	2
12	エキゾーストパイプガスケット	1
13	ラバーパッキン	1
14	カムシャフト	1
15	VM22キャブレターASSY.	1
16	インテークマニホールド	1
17	エアフィルター (バンド付)	1
18	ロックナット 6mm	2
19	インレットパイプガスケット	2
20	ソケットキャップスクリュー 6×2.5	2
21	ソケットキャップスクリュー 6×3.0	2
22	スロットルケーブル 710mm	1
23	スパークプラグ CR8HSA	1
24	ドライブスプロケット (プレート付) 15T	1
25	メインジェット #105	1
26	インシュレーター	1
27	フューエルコック	1
28	原付2種マークセット	1



取り付けに使用する工具等

1	トルクレンチ
2	スパナレンチ 8 - 10mm
3	スパナレンチ 10 - 12mm
4	スパナレンチ 12 - 14mm
5	オフセットレンチ 8 - 9mm
6	オフセットレンチ 10 - 12mm
7	オフセットレンチ 14 - 17mm
8	ラチェットハンドル
9	ソケット 8mm
10	ソケット 10mm
11	ソケット 12mm
12	エクステンションバー 小
13	エクステンションバー 中
14	スパークプラグレンチセット (車載工具)
15	ドライバークラス 大
16	ドライバークラス 中
17	細軸ドライバークラス
18	六角棒レンチ 5mm
19	ニードルノーズプライヤ
20	プラスチックハンマー
21	シクネスゲージ
22	カッターナイフまたはスクレーパー
	針金等
	ウエス
	エンジンオイル

各部品名称



STD部品取り外し

1. シートを取り外す



サイドカバーを取り外す。



シート下のナットを緩め、ボルトを取り外す。
使用工具
ボックスレンチ 12mm
エクステンションバー 小
オフセットレンチ 10mm



リアショックのナット2個を緩める。
使用工具
オフセットレンチ 14mm



シートを後方に引いて取り外す。

2. フューエルタンクを取り外す



フューエルコックをOFFにする。



フューエルコックをフューエルタンクから取り外し、キットの物を取り付ける。
使用工具
スパナレンチ 19mm



チューブクリップをずらし、キャブレターのフューエルチューブの接続を外す。



フューエルタンクをフレームにとめているボルトを取り外す。
使用工具
オフセットレンチ 10mm



フューエルタンクを後方に引いて取り外す。

3. キャブレターを取り外す



キャブレターのトップキャップを外し、スロットルバルブをキャブレターから抜き取る。



エアクリーナーステー部のボルトを取り外す。
使用工具
ボックスレンチ 10mm
エクステンションバー 小



インレットパイプをシリンダーヘッドにとめているボルト2本を取り外しインレットパイプ、キャブレター、エアクリーナーを取り外す。
使用工具
オフセットレンチ 8mm



クランプ ワイヤーハーネス
ワイヤーハーネスをフレームの下側になるように移動させる。

4. マフラーを取り外す



EXパイプ部のナット2個を反時計方向に回し取り外す。
使用工具
スパナレンチ 10mm



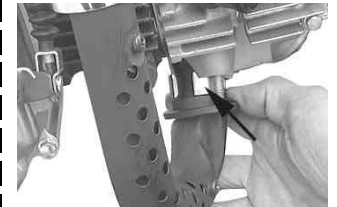
マフラー本体を止めている6角ボルトを反時計方向に回し取り外す。

使用工具
ボックスレンチ 12mm
エクステンションバー 中

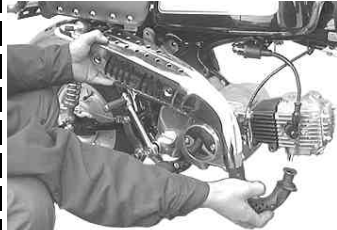
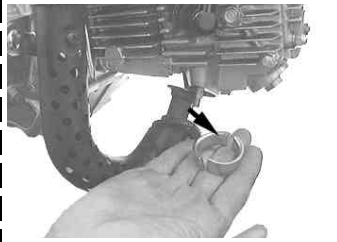


マフラー本体裏側に止まっているナットを反時計方向に回し取り外す。

使用工具
ボックスレンチ 10mm
エクステンションバー 中



フランジのカラー2個を取り外し外側に引く様にしてマフラーを車体から取り外す。



5. フロントフェンダーを取り外す



フロントフェンダー裏側の6角ボルト2本を反時計方向に回し取り外す。

使用工具
ボックスレンチ 10mm
エクステンションバー 小

17. フューエルタンクの取り付け



フューエルタンクをフレームに取り付ける。



フューエルタンクをフレームにボルトで取り付ける。

使用工具
オフセットレンチ 10mm

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



フューエルチューブをキャブレターに接続します。

18. シートの取り付け



リアショックの2枚のワッシャの間にシートステーのフックを差し込み、取り付ける。



シート下にボルトを差し込み、ナットを取り付ける。

使用工具
ボックスレンチ 12mm
エクステンションバー 小
オフセットレンチ 12mm

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：22N・m (2.2kgf・m)



リアショックのナット2個を締め付ける。

使用工具
オフセットレンチ 14mm

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：34N・m (3.5kgf・m)



サイドカバーを取り付ける。

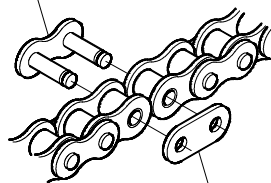
19. ドライブ（エンジン側）スプロケットの取り付け



クリップ

ドライブチェーンのクリップを取り外す。

マスターリンク



リンクプレート

リンクプレートとマスターリンクを取り外し、ドライブチェーンを取り外す。
作業の際は必ずエンジンを停止すること。



リアブレーキをかけながらボルト2本を取り外す。

使用工具
ボックスレンチ 10mm
エクステンションバー 小



プレートを取り外す。



ノーマルのスプロケットをシャフトから抜き、チェーンを取り外す。



キットのスプロケットをシャフトに差し込む。



キットのプレートを取り付け、ボルト2本を仮止める。

キャブレターセッティング要領

- ・キャブレターがエンジンに適合していない時のエンジンに現れる不調の原因は、混合気が濃すぎるか薄すぎるかの2つの原因に絞られます。
- ・エンジンに現れる不調の現象は次の通りです。

混合気が濃すぎる時	混合気が薄すぎる時
・爆発音が重い感じで断続する。 ・チョークを作動すると、より調子が悪くなる。 ・エンジンが暖機すると調子が悪くなる。 ・クリーナーを外すと調子が良くなる。 ・排気ガスが濃い。(黒い) ・プラグが黒くくすぶる。	・エンジンがオーバーヒート気味になる。 ・チョークを作動すると、調子が良くなる。 ・加速が悪い。(息付きをおこす) ・回転変動があり、力がない。 ・プラグが白く焼ける。

キャブレターのセッティングは暖機後に行い、走行確認を行って下さい。又、プラグは適正な熱価の物をご使用下さい。
エンジン回転後、スロットル開度等により、どの範囲でエンジンが不調になるかを考慮し、下記の要領でセッティングして下さい。

○ジェットニードル (スロットル開度 1 / 4—3 / 4)

加速時、スロットルに回転がついて来るか、来ないか

- ・息付きをする場合、濃くして下さい。
- ・回転の上がりが高く、排気ガスが黒い場合は薄くして下さい。

この開度での混合比は、Eリングを入れる溝の段数で調整出来ます。Eリング位置が1段目から5段目に下がるにつれ混合気は濃くなります。



○メインジェット (スロットル開度 3 / 4—4 / 4)

この開度での混合比は、ジェットの番数を変えることにより調整出来ます。番数を上げると混合気が濃くなります。
仕様等を考慮の上、最高回転数 (最高速度) の得られる物を選んで下さい。

○パイロットジェット (調整前にまずエアスクリーを調整して下さい。)

- ・エアスクリーを戻し量 3 .0 回転以上の場合、パイロットジェットを小さくして下さい。
- ・エアスクリーが全閉になる場合は、パイロットジェットを大きくして下さい。
パイロットジェットはアイドルリングから低速運転時に、エンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。
- ・回転上昇に谷が出来る場合、パイロットジェットが小さ過ぎます。(アイドル回転時)
- ・排気が濃く排気音が重い場合、パイロットジェットが大き過ぎます。(アイドル回転時)
- ・パイロットジェット交換時には、エアスクリーの再調整が必要です。

○エアスクリー

エアスクリーはスロー系の空気流量を調整します。(アイドルリング時)

- ・エアスクリーを右に回す→混合気が濃くなる。
- ・エアスクリーを左に回す→混合気が薄くなる。

標準戻し回転数 (1 .5 回転) に合わせ、左右に 1 / 4—1 / 2 回転ずつ回しエンジン回転数が最も高くなる位置に調整します。

アイドルストップスクリーで安定したアイドル回転まで下げ、もう一度エアスクリーで最も回転数が高くなる位置に調整します。

●気圧、気温、湿度によるセッティングへの影響

- ・高地等で気圧が下がると空気密度が下がり、キャブレターへ吸入される空気量が減少します。この為、低地で調整されたキャブレターは混合気が濃くなります。
- ・非常に気温の低い天候下では、空気密度が上がる為、キャブレターの混合気は薄くなります。
- ・雨天の場合は湿度が上がる為、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。